様式例１６（設立代表者から借入する場合）

金銭消費貸借契約書（例）

平成19年6月30日

＊設立総会以降の年月日を記入

貸主○○○○（以下「甲」という）と借主**医療法人社団○○会設立代表者**○○○○（以下「乙」という）は、次のように金銭消費貸借契約書を締結した。

第１条（賃借）
甲は、乙に対し、**金1，000万円**を、次条以下の約定で貸し渡し、乙はこれを借り受け、受領した。
第２条（利息）
本件消費貸借の利息は、元金に対し**年0％**とする。
第３条（弁済期）
乙は、甲に対し、元金については**平成21年6月30日**限り甲の住所に持参し、又は送付して支払う。
第４条（失権約定）
乙は、次の場合には、甲の催告を要せず当然に期限の利益を失い、直ちに元金を支払わなくてはならない。
乙が第三者から差押・仮差押・仮処分を受け、若しくは競売の申立又は破産宣告の申立を受けたとき。
第５条（読替）
本契約は、○○○知事の医療法人設立認可の日をもって発効するものとし、同法人設立の上は、乙の表示は、**医療法人社団○○会（理事長：○○○○、住所：○○市○○区○○○○○○番○号）**と読み替えるものとする。

この契約の成立を証するため、本書２通を作成し、甲乙記名押印の上、各自１通を所有する。

平成19年6月30日

＊設立総会以降の年月日を記入

（甲）住　　所　○○**市**○○**区**○○○○○○○○○○○
　　氏　　名　○　○　○　○　　㊞
（乙）住　　所　○○**市**○○**区**○○○○○○○○○○○
　　氏　　名　**医療法人社団**○○**会**
　　設立代表者　○　○　○　○　　㊞